

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ インフルエンザの定点あたり報告数は10.35となり、前週の17.55から減少しました。しかしながら、まだしばらくは流行が続きます。咳エチケット、手洗い、うがい等の感染予防対策を徹底してください。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代女性)あり、症状は尿路感染症です。本年の累積報告数は8例となりました。
- ・ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1例(80歳代女性)あり、症状はショック、DIC、軟部組織炎、中枢神経症状です。本年の累積報告数は3例となりました。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が6例(10歳未満男性1例、60歳代男性1例、70歳代男性2例、80歳代男性1例、60歳代女性1例)(第9週追加3例含む)ありました。本年の累積報告数は22例となりました。

京都市では、「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。

○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(健康安全課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

- ・ 梅毒(無症候)の報告が1例(30歳代男性1例)あり、感染地域は国内、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は17例となりました。

◆ 今週のトピックス:<結核>

3月24日は世界結核デーです。今年のテーマは“Wanted: Leaders for a TB-free world”で、「求む:結核のない世界ためのリーダー」という意味です。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 6例(肺結核 3例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 3例
【1月以降の累積報告数 60例(肺結核 23例, その他結核13例, 潜在性結核感染者 24例)うち喀痰塗抹陽性 11例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 8例】
- ・ 五類:急性脳炎 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 6例【1月以降の累積報告数 22例】
- ・ 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 17例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	10.35	714
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.81	207
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33	57
	③ 突発性発しん	0.23	10
	④ RSウイルス感染症	0.19	8
	⑤ 咽頭結膜熱	0.12	5
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<結核>

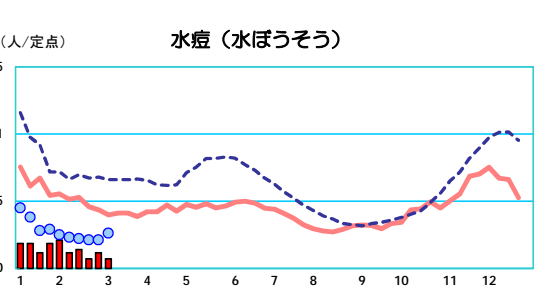
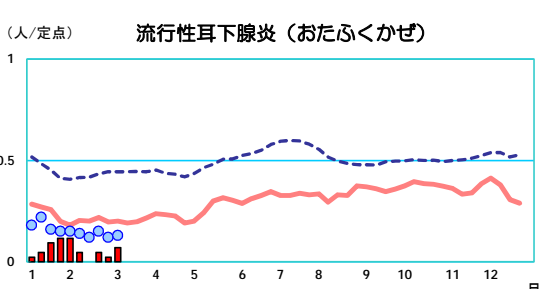
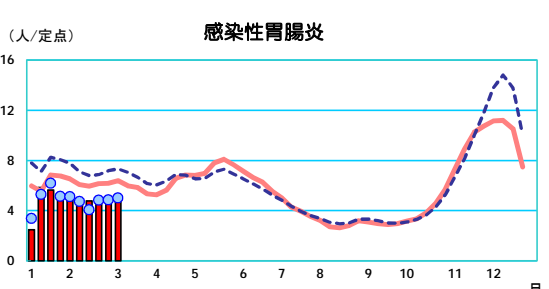
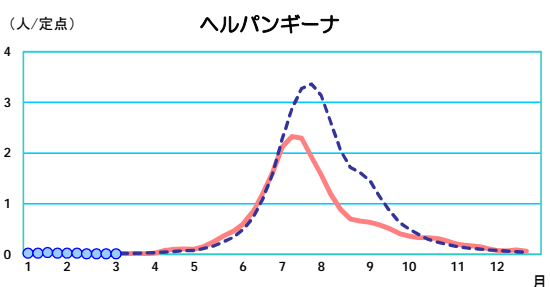
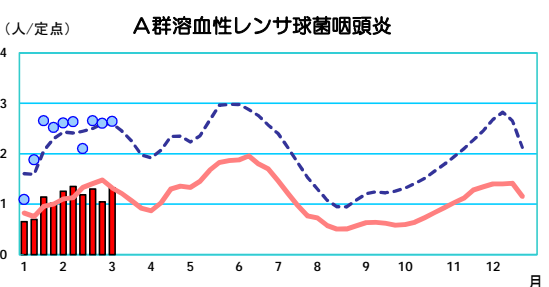
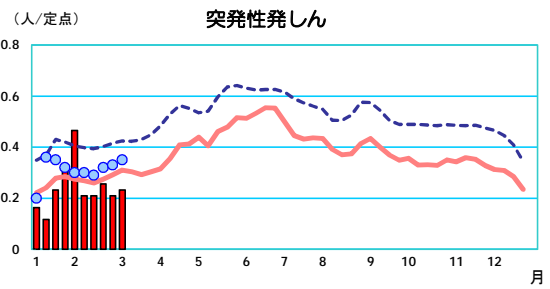
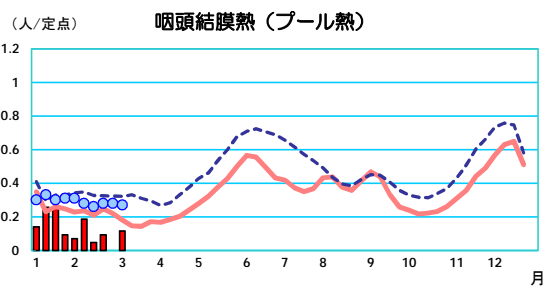
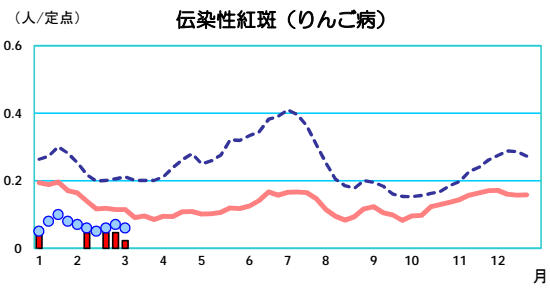
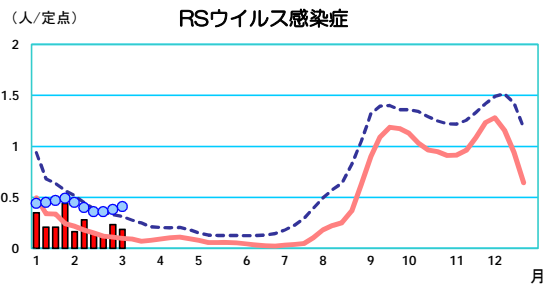
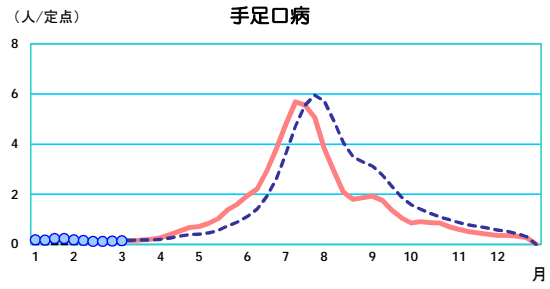
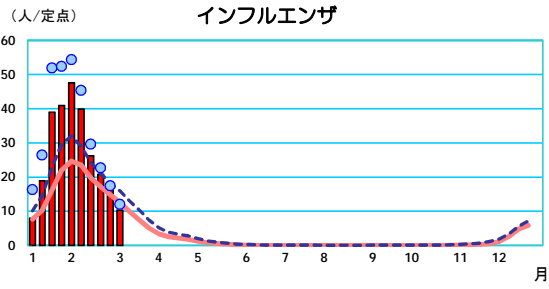
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年3月14日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第10週(3月5日～3月11日)トピックス: <結核>

3月24日は世界結核デー(※1)です。今年のテーマは“Wanted: Leaders for a TB-free world”で、「求む:結核のない世界のためのリーダー」という意味です。これにちなみ、世界及び本市の平成28年までの結核の状況についてまとめました。

WHOによると、平成28年に世界で新たに結核を発病した人が年間1,040万人、結核で亡くなった人が180万人と報告されています(※2)。主に発展途上国で結核罹患率(人口10万対)が高く(図1)、多くの先進国では低ま延国の水準である10を下回っています(表1)。一方、日本は結核罹患率が13.9となっており、先進国の中では高い値を示しています。

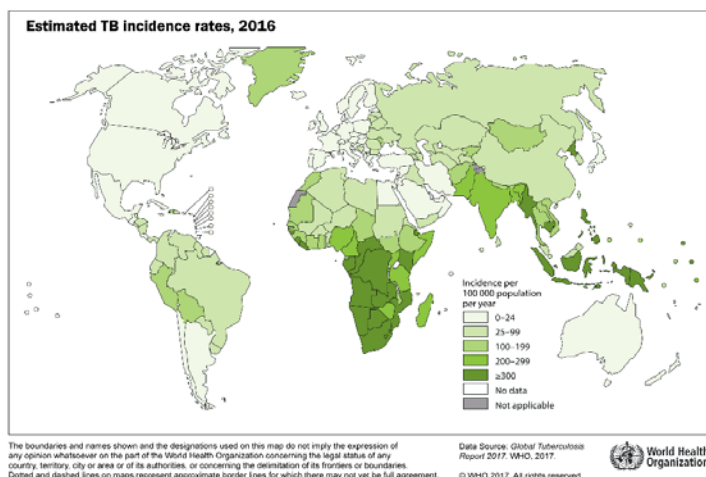
本市の平成28年の結核罹患率は16.7で、前年の16.2から0.5ポイント微増しました。依然、全国の13.9と比較して高値を示しています(図2)。年齢階級別の比率では、平成27年に比べ、0～29歳及び30～59歳は減少したものの、60歳以上では増加しました(表2)。

結核の主な感染経路は気道を介した飛沫核感染であることから、患者の早期発見・早期治療が重要です。このことは本人の重症化を予防するだけでなく、周囲への感染拡大を防ぐこととなります。特に抵抗力の弱い乳幼児への感染は、大半が家族等の身近な患者からの感染と言われています。咳が2週間以上続く、急に体重が減る、身体がだるい等の症状があれば、医療機関を速やかに受診しましょう。

(※1) 1882年に細菌学者ロベルト・コッホが結核菌を発表した日にちなみ、1997年の世界保健総会で制定されました。

(※2) WHOホームページ(<http://www.who.int/campaigns/tb-day/2018/event/en/>) (平成30年3月15日閲覧)から引用

(図1) 平成28年推定結核罹患率(※1)

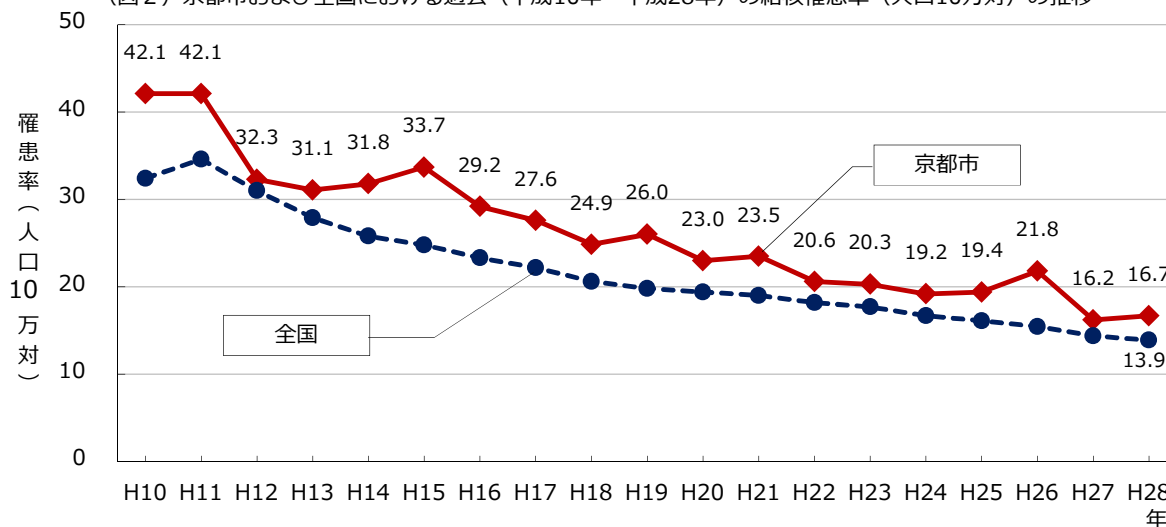


(表1) 諸外国と日本の結核罹患率(※2)

国名	罹患率	年次
米国	2.7	2016
カナダ	4.8	2016
デンマーク	5.1	2016
オランダ	5.2	2016
オーストラリア	5.7	2016
イタリア	6.4	2016
ドイツ	7.0	2016
スウェーデン	7.1	2016
フランス	7.2	2016
英国	8.8	2016
日本	13.9	2016

諸外国のデータはGlobal Tuberculosis Control WHO Report 2017より

(図2) 京都市および全国における過去(平成10年～平成28年)の結核罹患率(人口10万対)の推移



(表2) 京都市の罹患率における年齢階級別の比率(平成28年)

0～29歳	5.0%	前年5.5%から0.5↓
30～59歳	23.1%	前年24.0%から0.9↓
60歳以上	71.9%	前年70.5%から1.4↑

(※1) WHOホームページより引用
http://gamapserver.who.int/mapLibrary/Files/Maps/gho_tb_incidence_2016.png
 (平成30年3月15日閲覧)

(※2) WHOホームページ<http://www.who.int/campaigns/tb-day/2018/event/en/>よりWHO TB burden estimates(CSVファイル)を入手し加工。(平成30年3月15日入手)

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第10週

疾病,行政区別報告数

平成30年3月5日～平成30年3月11日

データ入手日:平成30年3月14日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群 溶血性 レンサ 球菌咽 頭炎	感染性 胃腸炎	水 痘	手足 口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎 (※2)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎 (※3)	感 染 性 胃 腸 炎 (※4)
男女合計																		
北	43	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2					
上京	45	-	-	5	6	-	-	-	-	-	1	-	2					
左京	74	-	-	3	56	-	-	-	1	-	-	-	-					
中京	32	-	-	6	11	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	31	3	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-					
山科	56	-	-	-	14	-	-	1	-	-	1	-	-					
下京	12	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	99	-	-	4	18	1	-	-	1	-	-	-	-					
右京	128	-	2	15	21	2	1	-	2	-	1	-	-					
伏見	120	5	2	9	42	-	-	-	4	-	-	-	-					
西京	74	-	-	13	29	-	-	-	-	-	-	-	-					
京都市計	714	8	5	57	207	3	1	1	10	-	3	-	4	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点点あたり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群 溶血性 レンサ 球菌咽 頭炎	感染性 胃腸炎	水 痘	手足 口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎 (※2)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎 (※3)	感 染 性 胃 腸 炎 (※4)
男女合計																		
北	6.14	-	0.25	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00					
上京	9.00	-	-	1.67	2.00	-	-	-	-	-	0.33	-	2.00					
左京	10.57	-	-	0.75	14.00	-	-	-	0.25	-	-	-	-					
中京	6.40	-	-	2.00	3.67	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	10.33	1.50	-	-	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-					
山科	8.00	-	-	-	2.80	-	-	0.20	-	-	0.20	-	-					
下京	4.00	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	19.80	-	-	1.33	6.00	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-					
右京	16.00	-	0.40	3.00	4.20	0.40	0.20	-	0.40	-	0.20	-	-					
伏見	10.91	0.71	0.29	1.29	6.00	-	-	-	0.57	-	-	-	-					
西京	9.25	-	-	2.60	5.80	-	-	-	-	-	-	-	-					
京都市計	10.35	0.19	0.12	1.33	4.81	0.07	0.02	0.02	0.23	-	0.07	-	0.40	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第10週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年3月5日～平成30年3月11日

データ入手日:平成30年3月14日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	714	1	3	25	28	36	39	55	54	39	30	38	111	23	44	33	46	42	23	15	29	
RSウイルス感染症	年齢3	8	4	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		5	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		57	-	-	3	6	4	2	8	6	7	6	6	5	1	3	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		207	2	12	25	16	13	18	19	13	9	8	16	21	13	22	-	-	-	-	-	-	-
水痘		3	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		10	-	4	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		3	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎			4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	10.35	0.01	0.04	0.36	0.41	0.52	0.57	0.80	0.78	0.57	0.43	0.55	1.61	0.33	0.64	0.48	0.67	0.61	0.33	0.22	0.42
RSウイルス感染症	年齢3	0.19	0.09	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.12	-	0.02	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.33	-	-	0.07	0.14	0.09	0.05	0.19	0.14	0.14	0.14	0.14	0.12	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		4.81	0.05	0.28	0.58	0.37	0.30	0.42	0.44	0.30	0.21	0.19	0.37	0.49	0.30	0.51	-	-	-	-	-	-
水痘		0.07	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.23	-	0.09	0.07	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.07	-	-	-	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎			0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	0.10	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第10週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年3月14日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	3,287	2,752	1,809	1,434	1,211	714
RSウイルス感染症	7	12	6	5	10	8
咽頭結膜熱	3	8	2	4	-	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	58	51	56	45	57
感染性胃腸炎	229	209	205	205	211	207
水痘	9	5	6	3	5	3
手足口病	3	4	1	1	1	1
伝染性紅斑	-	2	-	2	2	1
突発性発しん	20	9	9	11	9	10
ヘルパンギーナ	-	1	-	1	-	-
流行性耳下腺炎	5	2	-	2	1	3
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	6	1	2	3	4
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	3,622	3,068	2,090	1,726	1,498	1,013

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	47.64	39.88	26.22	20.78	17.55	10.35
RSウイルス感染症	0.16	0.28	0.14	0.12	0.23	0.19
咽頭結膜熱	0.07	0.19	0.05	0.09	-	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.26	1.35	1.19	1.30	1.05	1.33
感染性胃腸炎	5.33	4.86	4.77	4.77	4.91	4.81
水痘	0.21	0.12	0.14	0.07	0.12	0.07
手足口病	0.07	0.09	0.02	0.02	0.02	0.02
伝染性紅斑	-	0.05	-	0.05	0.05	0.02
突発性発しん	0.47	0.21	0.21	0.26	0.21	0.23
ヘルパンギーナ	-	0.02	-	0.02	-	-
流行性耳下腺炎	0.12	0.05	-	0.05	0.02	0.07
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	0.60	0.10	0.20	0.30	0.40
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	55.81	47.69	32.83	27.73	24.46	17.61

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。